

令和 7 年度小平市立小平第五小学校～「全国学力・学習状況調査」結果概要～

1 調査目的・対象

児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、今後の児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるための調査です。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等、また、知識・技能を実生活の様々な場面で活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関することを児童が答える調査です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関することを児童が答える調査です。

3 各教科の調査結果の分析

【国語】

状況の分析

全ての項目において全国・東京都平均を上回った。その中で、話し合いの中の発言やメモの中の空欄に文脈に沿って適切な内容を選ぶ問題が、それぞれ 50.8 ポイント、68.3 ポイントと「読むこと」のポイントが最も低い結果となった。

課題

文章を読み、内容を正確に捉える力や、たくさんの資料の中から必要な情報を見付け出したり、情報を整理したりする力を育てる必要がある。

学校で取り組む具体的な改善策

- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、議論の進め方について考えたりする活動を国語科での学習を基盤とし、社会科や総合的な学習の時間等でも実践する機会を設ける。
- ・複数の本や新聞、インターネット等を活用して調べたり考えたりしたことを報告する活動を設定する。

【算数】

状況の分析

全ての領域において全国・東京都平均を上回った。その中で、「D データの活用」では、全国平均より 13.9 ポイント、東京都平均より 8.9 ポイント上回った。また、記述式の問題は全国・東京都平均を上回ったが、44.6 ポイントと低い結果となった。

課題

分数の意味や性質の理解が定着していないことから、苦手意識を感じている児童が多い。その結果、分母が異なる分数の計算で通分をする際にも、それを数や言葉で説明することに課題がある。

学校で取り組む具体的な改善策

- ・分数の意味や性質についての復習を重点的に取り組む。また、朝の時間などを活用して、計算の練習に取り組む習慣を少しずつ設けていき、定着を図っていく。
- ・自分の考えを自分の言葉で説明し、思考のプロセスを共有したり評価し合ったりできる場면을意図的に設定していく。

【理科】**状況の分析****課題**

全ての区分・領域において、全国・東京都平均を上回った。その中で、A 区分「エネルギー」が 52.4 ポイント、「粒子」が 58.1 ポイントと低かった。また、記述式の問題形式の正答率が 57.5 ポイントと低かった。

電気を通すか、磁石に引き付けられるかという金属の性質の理解や電気が流れる回路の作り方に課題が見られる結果となった。また、結果を基に自分の考えを表現する力に課題が見られる結果となった。

学校で取り組む具体的な改善策

- ・電気や磁石の実験をする際に、児童が自由に試す時間を確保するとともに、個人だけでなくグループで活動する時間や情報を共有したり話し合ったりする活動を取り入れ、正しい実験結果が得られるようにさせる。
- ・実験の結果を文章で表現し、その結果を基に考察する場面を多く設定する。その中で、基本の形を示したり交流させたりすることで、児童が自信を持って活動に取り組むことができるようにする。

【質問紙】**状況の分析****課題**

「自分にはよいところがある」「先生はよいところを認めてくれている」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」「友達関係に満足している」児童の割合は高い。一方で、「将来の夢や目標を持っている」「学校に行くのは楽しい」児童は東京都より 4 ポイント以上低くなっている。

児童と教員との信頼関係や児童同士の人間関係は着実に築かれており、おおむね良好であると考えられる。「学校が楽しい」と感じられるよう、授業の充実と基礎基本の定着を図るとともに、道徳や総合的な学習の時間等を通して将来の夢や目標に関わるキャリア教育に力を入れていく必要がある。

学校で取り組む具体的な改善策

- ・各教科の授業の充実と単元の終わりの振り返りで身に付いた力を言語化したり、宿題や自主学習を通して基礎基本の定着を図ったりすることで、「分かる」「できる」喜びを味わう機会を増やす。
- ・教科担任制、副担任制を活かし、今まで以上に様々な場面や複数の視点から児童のよさを捉え、伝えることで「学校が楽しい」と感じられる機会を増やす。
- ・総合的な学習の時間では、将来の職業や生き方について考えたり、視野を広げたりするために、様々な職業の大人から話を聞く機会を設定する。
- ・道徳の学習の中で、自己を見つめる時間を十分に取り、先人の生き方から自分の将来について考えを深めたり、友達の意見を聞き自分の考えを広げたりできるよう、発問や場面を工夫する。